

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移(2) 持ち帰る(束装費)の掛増

	01年度事業費 実績 (千円)
--	-----------------

—1枚目—

事務事業名	空き家対策事業	事務事業No.	50202000697	所属課	都市整備課
<p>(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？</p> <p>地域における人口減少や既存の住宅等の老朽化、社会的ニースの変化及び産業構造の変化に伴い、居住その他の使用がなされていない空家等が年々増加しています。</p> <p>これらの中には、適切な管理が行われていない結果として安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがあり、国の政策として「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成26年11月27日に施行された。</p>					
<p>(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <p>東日本大震災以降、多くの空き家が破損したままになっているところが多く、改善の対応を求められている。</p> <p>管理されていない空家について、近隣から雑草の繁茂、瓦・トタン等の飛散の苦情がある。</p> <p>空家を探している方から、情報提供の問い合わせがあるが、登録物件数が少ない。</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、市政策体系と合致します。
	② 公共関与との妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 空家の適切な管理により、市民が安全に安心した暮らしと生活環境の確保のための事業であるために妥当です。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 各課バラバラで行っていた空家の対策について、平成29年度に統一的な窓口を創設したため、向上の余地は大いにあります。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市第2次総合計画に描くため、市政策体系の見直し等の影響は大きいです。
効率性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、施行しており類似事業はない。また、取り組み始めたばかりの事業で、民間事業所との連携が取れない状況です。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 平成29年度から始まったばかりの事業であり、成果もまだまだ上がっていない。さらに経費を掛けていかないと事業が軌道に乗らない状態です。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 空家の問題だけでなく、近隣の周辺環境や景観、防災等に大きく影響し、空家の適正管理は地域にとっても有益であるため公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>空家対策計画に基づき、空家の適正管理の促進を行った。今後は空家バンクによる利活用促進と、適正管理・特定空家への対応について、空家対策推進会議に諮りながら事業を展開する。</p>																					
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 </p> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </p> <p>(複数回答可)</p> <p> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる </p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持			×																			
	低下			×																			
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>空家の適正管理の通知を行うが、リアクションがなかったり、相続放棄をしていたりで改善がなかなか進まない状況である。</p> <p>今後の対策として、空家対策の補助金等の見直しを行うことや、特定空家への認定を推進し、行政代執行等を視野に入れて考えなければならない。</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 ③</p>																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
<p>課長確認後の評価</p> <p><input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止</p> <p>B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>		<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/> 確認</p>	